

みずほCustomer Desk Report 2020/06/25号 (As of 2020/06/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.42	1.1313	120.40	1.2524	0.6945
SYD-NY High	107.07	1.1326	120.72	1.2541	0.6961
SYD-NY Low	106.39	1.1248	120.07	1.2415	0.6864
NY 5:00 PM	107.05	1.1251	120.47	1.2418	0.6868

NY DOW	25,445.94	▲ 710.16	日本2年債	-0.150	1.00bp
NASDAQ	9,909.17	▲ 222.20	日本10年債	0.010	0.60bp
S&P	3,050.33	▲ 80.96	米国2年債	0.187	▲0.21bp
日経平均	22,534.32	▲ 14.73	米国5年債	0.318	▲1.12bp
TOPIX	1,580.50	▲ 6.64	米国10年債	0.678	▲3.61bp
シコ日経先物	22,285.00	▲ 285.00	独10年債	-0.4410	▲3.40bp
ロンドンFT	6,123.69	▲ 196.43	英10年債	0.1870	▲2.50bp
DAX	12,093.94	▲ 429.82	豪10年債	0.9220	1.20bp
ハンセン指数	24,781.58	▲ 125.76	USDJPY 1M Vol	6.16	0.05%
上海総合	2,979.55	8.93	USDJPY 3M Vol	6.73	0.09%
NY金	1,775.10	▲ 6.90	USDJPY 6M Vol	7.58	0.01%
WTI	38.01	▲ 2.36	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	135.24	▲ 3.35	EURJPY 3M Vol	8.43	▲0.10%
ドルインデックス	97.15	0.50	EURJPY 6M Vol	8.85	0.05%

東京	東京時間のドル円は106.42レベルでオープン。朝方に106.39まで下げる場面もあったが、小安く始まった日経平均株価が持ち直したことで106.64まで上昇。その後は106円台半ばでの推移が続き106.59レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.59レベルでオープンし、材料不足で横ばい推移に終始。106.59レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2512レベルでオープン。英首相が7月4日に経済活動制限を一部緩和するとの発表を受けたポンド買いが一巡した模様。利益確定とみられるポンド売りが進み、一時1.2466まで下値を切り下げる局面もあったが、正午前後には買戻しが入り、結局1.2488レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリ 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は106円台半ばでもみ合い。早朝に「米国が31億ドル相当のEU・英国製品に新たな関税を検討」とのヘッドラインが嫌気され、リスク回避のドル買いが強まるも、欧州株や米株先物の下落に円買いも強まったことから方向感はず、106.59レベルでNYオープン。朝方は米株先物の下げ幅縮小で円買いが弱まり、ドル買い優勢となる。一時106.98まで上昇するが、IMFが今年の世界GDP予想を下方修正したことや、フロリダ州で感染者増加ペースの加速していることが伝わり、米株の下落が加速する中、ドル円も107円に乗せる前に反落する。その後も「テキサス州ヒューストン地区の集中治療室占有率が97%到達」、「NY含む3州で感染拡大地域からの移動時に自己隔離を義務付け」などのヘッドラインが伝わり、米国内での感染第2波への懸念からリスクオフのドル買いと円買いが同時に強まり、107円台手前の狭いレンジでのみみ合いが続く。終盤は再びドル買い優勢となり、高値107.07をつけ、107.05レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドル円は1.13台前半でスタートするが、先述の対欧州関税を巡る報道を受けて、米欧貿易摩擦の激化懸念にドル買いが強まり、一時1.1269まで下落し、1.1284レベルでNYオープン。欧州時間の流れを引き継ぎ、朝方はリスク回避のドル買いが先行し、1.1257まで下落。しかし、22日のNYクロス(1.1261)近辺では押し目買いも見られる中、この水準で下げ止まり、1.1270を挟んだレンジで売り買いが交錯。午後もうイルス感染第2波や米欧貿易摩擦への懸念が燃り、リスクオフの流れが継続する中、再びドル買い優勢となる。終盤に安値1.1248をつけ、結局、1.1251レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

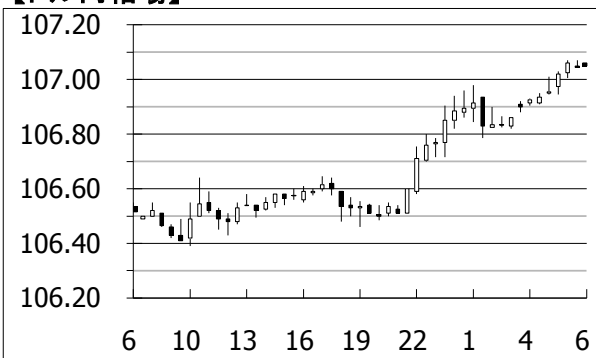
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月24日	17:00	独 IFO指数(企業景況感指数/期待/現況)	6月	86.2/91.4/81.3
6月25日	01:45	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	85.0/87.0/84.0
				「新型コロナの断続的な流行が経済成長を抑制する」

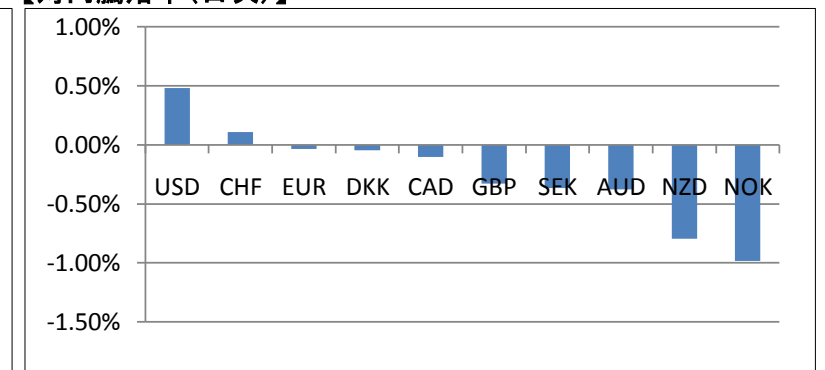
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月25日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月	0.4%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・速報	5月	0.3%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)・確報	1Q	10.5%/2.1%
	21:30	米 個人消費・確報	1Q	-5.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・確報	1Q	-6.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	1Q	-6.8%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・確報	1Q	1.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	1320k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	1508k
	22:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	23:30	欧 ノット・オランダ中銀総裁 講演	-	-
6月26日	00:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	02:00	英 ホールデンBOE理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 ポストコロナの流れは？

中国を発震源としたCOVID-19のグローバルな感染拡大が続き、各国の経済活動の衰退・停止の流れが加速してきたのは記憶に新しい。足許は、一部の国々でロックダウン解除の動きが徐々に進む一方、第二波への波及懸念は依然残存している状況。そんな中、唯一アジア圏ひいてはグローバルでCOVID-19の感染拡大の抑制に成功している国がある、それはベトナムだ。

直近までのベトナム国内におけるCOVID-19の感染者数は、政府による徹底した隔離政策の下、累計で300人超に留まっており、死者数は驚きの「0人」となっている。加えて、世界銀行はベトナムの2020年の成長率を2.8%と予想しており、COVID-19環境下で周辺国の成長率が軒並みマイナス成長見通しとなる中で、プラス成長見込を維持している点は際立って見える。

2018年より始まった米中貿易戦争により、中国からの生産拠点の移転という流れが垣間見え始めていた中で、今回のCOVID-19の感染拡大リスクが、「ポストコロナ」におけるグローバルなサプライチェーンの多様化・国際化の圧力を今後加速させる展開を想定する。ベトナムの主要輸出品目である携帯電話やコンピューター電子部品等についても、リモートワークの強化(ニューノーマルへの転換)を受けた副次的効果もあり、同品の需要回復期待が見込まれ、ベトナムへの投資資金のインフローが一層進展していくだろうと考えている。

こうしたベトナムへの進出や資金調達に関連するヘッジツールとして、当行は2020年3月よりNDF(ノン・デリバラブル・フォワード)の取扱を再開しており、ご検討する際のスムーズな導入につきサポートさせていただくので積極的にご活用いただけますと幸いです。(綿引)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14